



福岡県立美術館・九州大学総合博物館共催「九大百年 美術をめぐる物語」展開催

平成 28 年 10 月 8 日（土）～11 月 13 日（日）の期間中、九州大学総合博物館と福岡県立美術館の共催で「九大百年 美術をめぐる物語」展が、県立美術館で開催されます。サテライト会場として箱崎の九州大学総合博物館と馬出の九州大学医学歴史館で展示を行います。サテライト会場は入場無料です。

明治 44 年（1911）に開学した本学は、多くの人や物が集まり盛んに相互交流を重ねる一種の文化的磁場となり、福岡の地域文化の振興に大きな役割を果たしました。メイン会場の県立美術館では、九州大学をとりまく近代の美術活動に注目し、美術評論家としても活躍した医学者・中山森彦の活動、九州大学工学部壁画を描いた洋画家・青山熊治の作品をはじめ、九州大学の歴代総長や教授たちを描いた肖像画や九州大学にゆかりの深い作家や作品など、普段なかなか見る事のできない作品を含め、ご紹介していきます。サテライト会場の 1 つである九州大学総合博物館では、中山森彦の弟である考古学者・中山平次郎の資料、戦前の九州大学研究者らによる科学描画と図版を、医学歴史館ではムラージュ（医療標本）を、展示します。みなさん是非お越し下さい。

九州大学というと、質実剛健、研究一筋、という印象があるかもしれませんが。そんな九州大学に、素晴らしい芸術作品が、意外にたくさんあるのです。このことを、学内の人達ですら、あまり知りません。今回は、そんな美術作品を堪能する、またとないチャンスです！作品をとりまく数々の物語も、大学ならではの興味深いものばかりです。



青山熊治壁画（土日祝、箱崎キャンパスにて公開）。その原図や下絵が、初の里帰り展示（メイン会場）。



九州大学ゆかりの秀作とその由来も紹介。（メイン会場）



普段なかなか表に出ない九州大学所蔵の、著名画家らによる歴代総長などの肖像画 15 点を一挙大公開（メイン会場）。

【お問い合わせ】 九州大学総合研究博物館
電話：092-642-4252
FAX：092-642-4299
Mail：office@museum.kyushu-u.ac.jp

福岡県立美術館
電話：092-715-3551(代表)

平成 28 年度福岡県立美術館企画展・平成 28 年度九州大学総合研究博物館公開展示

九大百年

美術をめぐる物語

1911……2016

10/8 ^{2016年}[土]~11/13 [日]



青山熊治「九州大学工学部壁画」昭和7年、九州大学旧工学部本館4階会議室（会期中の土日祝日に特別公開します）

〔メイン会場〕

福岡県立美術館

〔サテライト会場Ⅰ／九大箱崎キャンパス〕

九州大学総合研究博物館

〔サテライト会場Ⅱ／九大馬出キャンパス〕

九州大学医学歴史館

主催／福岡県立美術館、九州大学総合研究博物館 共催／九州大学医学歴史館、九州大学大学院人文科学研究院、九州大学大学文書館 協力／九州大学大学院医学研究院
本展の内容の一部は、科学研究費補助金基盤研究(A)「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」の成果です。



「福岡・博多鳥瞰図」明治20年
九州大学附属図書館付設記録資料館



絵葉書「福岡名所 九州帝国工科大学」個人蔵



真隅太荘「九州帝国大学全景」昭和時代、九州大学大学院工学研究院



藤島武二「山中湖畔の朝」大正5年
福岡県立美術館 (中山森彦旧蔵)



仙厓「円相図」
九州大学大学院人文科学研究院 (中山森彦旧蔵) /
前期のみ展示
*仙厓作品は一部展示替えがあります。
(前期: 10/8 ~ 23、後期: 10/25 ~ 11/13)

Story

2

美術評論家・ 中山森彦の活動

九州帝国大学医科大学教授を務めた医学者であると同時に、美術評論家やコレクターとしても活躍した、福岡の美術界のキーパーソンであった中山森彦の活動について、旧蔵作品や資料から検証します。

九州帝国大学工科大学で教鞭を執った西川虎吉教授の還暦退官を記念して、青山熊治に依頼され、今もその堂々たる姿をとどめている「九州大学工学部壁画」を中心にしながら、青山が福岡の地に残した足跡をたどります。

Story

3

青山熊治と 「九州大学工学部壁画」



青山熊治「男子立像」
昭和5年頃、
東京藝術大学



青山熊治「竹を持つ男」
昭和5年頃、但陽信用金庫

九州帝国大学の 開学と歴史

九州帝国大学の開学当時の様子について、古地図や絵葉書、写真、建築図面などからひも解きます。

Story

1

東京、京都、東北に次ぐ4番目の帝国大学として明治44年(1911)に福岡の地に開学した九州帝国大学は、明治36年(1903)開学の福岡医科大学をその前身とし、工科・医科の二科大学として誕生したのちには、大正8年(1919)に農学部が、同13年に法文学部が創設され、総合大学として発展していきます。九州大学(以下九大)は、最先端の知が集まる学問の殿堂であったのはもちろんのこと、そこに多くの人や物が集まり、盛んに相互交流を重ねるというように、九大を中心とした文化的磁場が形成されたことにより、福岡の地域文化の振興に大きな役割を果たしたとも言えるでしょう。

本展は3つの会場からなります。メイン会場である福岡県立美術館

では、九大において展開された近代の美術活動に注目し、様々な視点から九大百年の歩みをたどります。また、サテライト会場である九州大学総合研究博物館や九州大学医学歴史館では、科学描画、考古学資料、ムラージュ等、大学ならではの様々な博物資料を展示し、「美術」の周辺にある事象についてご紹介します。

九大という場が引き寄せ、そこにおいて織りなされたいくつもの物語が、あたかもひとつの織物を織るかのようになり合い、絡まり合う様子から、近代福岡の地域文化史の一側面をご覧いただくと同時に、開学から百年の時を経た九大がこれから未来へ向けて歩むべき姿にも思いを馳せていただけたら幸いです。



青山熊治「アイヌ」大正2年、福岡県立美術館

Story

4

博士たちの肖像



児島喜久雄「長寿吉先生像」昭和15年、
九州大学大学院人文科学研究院



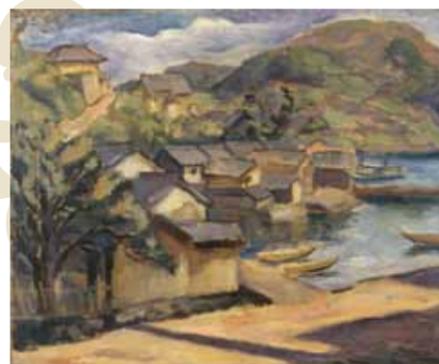
岡田三郎助「第2代総長 真野文二像」
大正11年、九州大学

九大の学内には、大学で教鞭を執った博士たちの肖像が多数残されています。当時の著名な美術家たちに依頼されたこれらの肖像は、美術作品としての価値もさながら、大学という学問の場において、学恩を追慕し、後世に伝えるものとして現在も大切にされています。



片岡銀蔵「赤岩外科」昭和16年、九州大学医学歴史館

開学から100年という長い歴史のなかで、九大には様々な作品が伝わっています。九大と直接に関係のある作家による作品や、九大ゆかりの人物によって伝えられた作品など、来歴は様々ですが、いずれも九大に関係する人々の営みによって生み出され、九大という「場」に引き寄せられた作品です。



真隅太荘「漁村」昭和6年、福岡県立美術館

九大ゆかりの 作家と作品

Story

5

Story

6

美術の周辺

「基底細胞癌のムラージュ」
九州大学大学院
医学研究院皮膚科学



【サテライト展示II / 九州大学医学歴史館】

九州大学医学歴史館では、福岡美術会を組織した新島伊三郎(嘯風)によって制作されたムラージュ(Moulage)の展示を中心にしながら、「医と美術」の接点を探ります。ムラージュとは、型取り模様のことで、特に病歴の記録や医療教育のために作られたロウ製模型は、明治・大正時代に日本に導入されました。九州大学大学院医学研究院皮膚科学教室には、1900年代に制作された出色のムラージュ約110体が良好な保存状態で保管されています。



中山平次郎関係考古学資料

金平亮三による植物描画

【サテライト展示I / 九州大学総合研究博物館】

中山森彦の実弟である中山平次郎は、九州帝国大学医科大学の教授でありながら、「漢委奴国王」の金印の出土地や鴻臚館の位置を推定するなど、福岡の考古学の発展に大きな足跡を残した人物です。また、金平亮三は九州帝国大学農学部教授を務めた林学者であり、一昨年、彼が描いた緻密な植物画が約80年ぶりに発見されました。九州大学総合研究博物館では、これら二人の活動を中心に紹介しつつ、考古学資料、科学描画などを展示します。

歴史から未来へ

Story

7



国際シンポジウム 「大学と美術の可能性を求めて」

日時／10月15日(土) 13:00～17:00
場所／九州大学箱崎キャンパス旧工学部本館

大講義室

参加無料(定員約300名、事前申込不要)

パネリスト／

- ①アンカ・ルジョジュ(南洋理工大現代美術センター出版部長/シンガポール)
- ②鄭千澤(東国大学教授・大学博物館館長/韓国)
- ③木ノ下智恵子(元・大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)特任准教授)
- ④尾本章(九州大学大学院芸術工学研究院教授・九州大学ソーシャルアトラボラボ長)
- ⑤後小路雅弘(九州大学大学院人文科学研究院教授) ※通訳あり

主催/科研「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」(研究代表者:五十殿利治)

連続セミナー「九大百年」

第1回 10月22日(土) 14:00～17:00

- ①後小路雅弘(九州大学大学院人文科学研究院教授)
「青山熊治と《九州大学工学部壁画》」
- ②岩永省三(九州大学総合研究博物館教授)
「中山平次郎の考古学研究」
- ③高山百合(福岡県立美術館学芸員)
「九大百年 美術をめぐる物語展について」

第2回 11月5日(土) 14:00～17:00

- ①古江増隆(九州大学大学院医学研究院教授)
「九州大学皮膚科のムラージュ」
- ②三島美佐子(九州大学総合研究博物館准教授)
「金平亮三の植物研究と科学描画」
- ③高山百合(福岡県立美術館学芸員)
「九州大学の学術研究と美術とのつながり」

場所/いずれも福岡県立美術館4階視聴覚室
参加無料(定員約80名、事前申込不要)

ミュージアムカフェ 「音楽と美術の夕べ」

青山熊治《九州大学工学部壁画》特別鑑賞会

日時/第1回 10月21日(金) 19:00～20:30
第2回 11月11日(金) 19:00～20:30

場所/九州大学旧工学部本館4階会議室
参加無料(定員約40名、当日先着順、事前申込不要)

ギャラリートーク

本展の福岡県立美術館会場担当の高山百合学芸員が、展覧会場内をご案内します。

日時/第1回 10月8日(土) 14:00～
第2回 11月12日(土) 14:00～

場所/福岡県立美術館4階展示室内
参加無料(要観覧券、事前申込不要)

(その他の関連展示)

「AQAプロジェクトの活動と未来」展

会期/10月5日(水)～11月21日(月) 10:00～17:00

土・日・祝日は休館、ただし10/15(土)、11/20(日)は開館

会場/九州大学伊都キャンパス 椎木講堂ギャラリー(〒819-0395 福岡市西区元岡744)

出品作家/牛島光太郎、ジェームス・ジャック 主催/九州大学文学部、AQAプロジェクト2016

▼3つの会場をまわってすべてのスタンプを集めた方には、記念品を贈呈します!!▼

福岡県立美術館

〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目2-1
TEL:(092)-715-3551 <http://fukuoka-kenbi.jp/>
観覧時間/10:00～18:00(ただし入場は17時30分まで)
月曜日休館(ただし10/10(月・祝)は開館、10/11(火)は休館)
入場料/一般 700円(500円)
高大生 500円(300円)
小中生 300円(200円)

*九州大学の学生・教員・職員については学生証・教員証・職員証の提示で無料。

*()内は20名以上の団体料金 *65歳以上の方は特別割引料金(500円) *以下の方々は無料=身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方及びその介護者/特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方/教員引率による小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の児童・生徒及びその引率者/会期中土曜日の高校生以下の方

スタンプ

市営地下鉄/「天神駅」天神地下街東1aまたは東1b出口から徒歩10分
西鉄電車/「西鉄福岡(天神)駅」から徒歩15分
西鉄バス/「博多駅前A」から301・302・303・305番等で「天神北」下車徒歩5分、「博多駅シティ銀行前F」から46番で「市民会館前」下車、徒歩2分/「天神ソラリアステージ前2A」から20・80・90番で「市民会館前」下車、徒歩2分
自動車/福岡都市高速「天神北」または「築港」から3分(乗用車50台駐車可能)



【九大百年展 公式 Facebook】

<https://www.facebook.com/kyudai100/>

九州大学総合研究博物館

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10-1
九州大学箱崎キャンパス 旧工学部本館3階
TEL:(092)-642-4252
<http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/>
観覧時間/10:00～17:00 開催中休館なし

入場無料

〔青山熊治《九州大学工学部壁画》の特別公開〕

九州大学旧工学部本館4階会議室

観覧時間/会期中土日祝日のみ 10:00～17:00 入場無料

スタンプ

市営地下鉄/「箱崎九大前駅」2番出口から徒歩5分
JR/「箱崎駅」西口から徒歩8分
西鉄バス/「天神郵便局前」から4・21・22・23番、「天神ソラリアステージ前2A」から20番「箱崎松原」下車、徒歩10分、「天神大和証券前(14)」から「九大前」下車、徒歩10分
自動車/福岡都市高速「貝塚」または「箱崎」から2分、国道3号線側「小松門」からのみ入場可能(入場料300円)



九州大学医学歴史館

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1
九州大学馬出キャンパス
TEL:(092)-642-4856
<http://rekishikan.med.kyushu-u.ac.jp/>
観覧時間/10:00～16:30 月・火曜日休館

入場無料

スタンプ

市営地下鉄/「馬出九大病院前」7番出口から徒歩8分
JR/「吉塚駅」西口から徒歩15分
西鉄バス/「博多駅センタービル前E」から9・10番、「博多バスターミナル1F」(1番乗り場)から29番、「天神大和証券前(14)」から1・71・77・78番、「県庁前」で下車、徒歩5分。
自動車/福岡都市高速「千代」から2分、「呉服町」または「東浜」から4分(九州大学病院と併用の有料駐車場あり)

